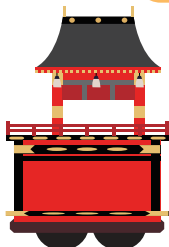


## 地域別市民意見交換会

### テーマ④ 文化伝承・振興

市民

・伝統的建造物群保存地区について、地域全体として整備を進める必要がある。指定範囲の内外で対応に差が生じ、同じ町内でも不公平感があるため、地域全体を対象とした説明と合意形成を進めてほしい。また地域では、祭りの担い手不足が深刻であり、アルバイトによる対応にも限界がある。高齢化や若者の地域離れにより行事や神社仏閣の維持管理が難しくなっており、このままでは伝統文化の継承が困難になるため、持続可能な担い手確保策を進めてほしい。



・各地域の歴史的な景観や例大祭をはじめとする伝統的な行事の保全には、特段の取組が必要であると考えています。伝統的建造物群保存地区をはじめとする景観は、都市基本計画や景観計画、各種条例等によって、その保存が進められており、近年では町内会や商店街が協定を締結するなどの動きもあります。区域の設定における住民合意はもとより、ご指摘のエリア境界部分の解釈についても、丁寧に進捗いただくよう努めて参ります。また担い手・資金不足についても、好循環モデルの事例等を参考に、より魅力ある文化や景観が保全されていくよう注力していきます。

議会

### テーマ⑤ 農業振興

市民

・高齢化や後継者不足が進む中で、管理ができていない田畑がある。また、機械の更新や農地の維持を個々の農家だけで続けていくことは難しくなっている。小規模農家は収益だけでなく農地や景観の維持、集落を守る役割も担っており、大規模化だけを前提とするのではなく、小規模でも農業を続けられるような支援の考えを示してほしい。

・中山間地域では、小規模農家が農地や景観、集落を支えている現実があり、そうした農家が営農を継続することが重要であると考えています。市では「小規模農家等営農継続支援事業」を実施しているが、国や県の制度と合わせて地域の実情に合った営農継続の取組が重要であると考えます。農業は中山間地域の重要な役割を担っていることから、農村RMO（※）の推進等農業振興については重要課題として捉えています。

※農村RMOとは  
農村型地域運営組織：複数の集落機能を補完して、農用地保全活動や農業を核とした経済活動と併せて、生活支援等地域コミュニティの維持に資する取組を行う組織

議会

### テーマ⑥ 民泊

市民

・民泊が増加している中で、騒音やごみ処理など生活環境における問題が発生しているため、民泊経営者への指導や連絡方法について示してほしい。

・民泊については県（保健所）が管轄となっています。市は「高山市民泊ガイド」を事業者に配布し、周知に努めているが、課題が多いと認識しており、委員会でも調査研究していきます。

議会



## 高山市議会議員政治倫理調査委員会 報告

令和7年10月に実施した委員会の視察において、政治倫理の基準に違反する行為があったとする政治倫理調査請求書が、12月9日に提出され、翌10日に高山市議会議員政治倫理調査委員会（議会運営委員会のメンバーを中心に8名で構成）を設置しました。

調査委員会では、当事者及び視察に同行していた委員会の関係者への事情聴取等を含め、26日までに調査委員会を9回開催し、調査・確認した内容を調査報告書にとりまとめ、副議長に提出いたしました。

調査の結果、伊東議員に対しては、副議長選立候補に関する発言が不適切であること、発言がハラスメント行為に該当する可能性が高いと認める委員が多いこと、また、水門議員に対しては、議長選挙・副議長選挙立候補に関する発言が不適切であること、発言がハラスメント行為に該当する可能性が高いと認める委員が多いことを踏まえて、それぞれ議会基本条例の「公正、誠実、清廉を基本とした厳しい倫理意識に徹して活動しなければならない。」に違反している疑いの行為であると、調査委員全員で認定しました。

この調査結果報告を受けて、令和8年1月9日には議会運営委員会を開催し、高山市政治倫理規則第10条に規定する「議会の名誉と品位を守り、市民の信頼を回復するための必要な措置」について協議し、両議員に対して公開で行う全員協議会において、道義的責任や政治的責任をどう感じておられるかも含め、謝罪を求めることを決定しました。このほか、謝罪だけでよいのか、問責決議といった意見もありました。この決定を受け、1月13日に全員協議会において両議員からの謝罪の発言がありました。

今後、高山市議会として、ハラスメント行為等が行われることのない、真に開かれた議会へのあるべき姿を確認しました。